



石川県公安委員会指定犯罪被害者等早期援助団体

一般社団法人 石川被害者 サポートセンターだより

Vol. **30**
2011.3.25

Ishikawa Victim Support Center

事務局 〒921-8105 金沢市平和町1丁目3番1号 石川県平和町庁舎2階 TEL 076-226-7831 FAX 076-226-7832 (4月より)

被害者支援フォーラム2010 「STAND～性犯罪被害者を守り支えるために～」を開催

「STAND」…傷ついた心を癒す希望のメッセージ。暗闇を照らす、ひとつの光。この曲に込められた彼女たちの思いを、ひとりでも多くの被害者に届けたい。性犯罪被害への理解を社会に対して訴える彼女たちの言葉に耳を傾けてほしい。そのために、私たちはこのフォーラムを企画しました。

去る平成22年11月3日(水・文化の日)、石川県地場産業振興センター本館大ホールにおいて開催した被害者支援フォーラム2010では、「STAND～性犯罪被害者を守り支えるために～」をテーマに、愛知県を中心に音楽活動をしている女性アコースティックデュオ「PANSAKU」(ばんさく)をお招きして、彼女たちのライブ・コンサートと「被害者支援トーク&トーク」と題して彼女たちを交えたトーク・イベントを行いました。

当日の会場には約170名の方々が足を運んでくださり、このフォーラムへの参加を通じて、「性犯罪被害」について考え、理解を深めました。

PANSAKUは、ボーカル&ギター担当の「ばん」とコーラス&パーカッション担当の「saku」さんの二人組で、平成20年4月に結成され、「心」をテーマとしたオリジナル曲を中心に歌っています。ボーカルの「ばん」さんは、平成16年7月に性犯罪被害に遭い、心に受けた深い傷に苦しめられてきましたが、周りの優しさに助けられ、辛い記憶を背負いながらも、奪われた自尊心と生きる喜びを少しずつ取り戻してきました。そんななか、「ばん」さんは、音楽を通して、声に出せず一人で苦しんでいる被害者の心を励ましたいと考え、その思いを込めたひとつの曲を作りました。その曲が「STAND」です。

当日のライブコンサートでは、その「STAND」を含む、心温まる7曲が歌われました。「あの日の傷跡が強さ変わる 誰かを愛する優しさになる 立ち上がるその足の道を照らす 生きてゆく力になる」「自分を責めないで あなたは悪くない」(「STAND」より抜粋)被害者へ向けたそれらのメッセージ(歌詞)がメロディーに乗って、心に優しく伝わってきました。改めて音楽の力とすばらしさを実感したひとときでした。

被害者支援トーク&トークでは、ゲストとしてPANSAKUのお二人に、弁護士の西村依子さん、金沢医科大学講師で臨床心理士の北本福美さんが加わり、それぞれの立場から、性犯罪被害者を取り巻く問題や被害者支援のあり方等について語り合っていました。

なかでも、性犯罪被害者の心情について、警察の事情聴取では、被害者の事件直後の供述が重要視されるけれども、被害直後の被害者の記憶は、被害を受けたショックから、自分の心を守るために「凍り付いた」状態となり、事件のことが思い出せないことは少なくなく、何年も時間が経って、安心できる状態になって初めてその「凍り付いた」記憶が蘇ることがある(それが被害者の正常な反応である)が、その記憶は証拠にならないのが現実というお話が印象に残りました。

また一方では、事件に対する責任が全くないにもかかわらず、被害にあったのは自分が悪かったからだ自分自身を責め続けてしまうことや「被害者にも非があるのではないか」という性犯罪に対する社会の偏見が、被害者の自責感を強め、被害者を更に苦しめることが少なくないという現実もあります。

そのような現状に置かれている被害者に対してどんなことを伝えたいかについて、ゲスト全員に質問したところ、それぞれが同じ言葉を選びました。

「あなたは決して悪くない」と伝えたい!

私たちサポートセンターとしましては、今後もPANSAKUの活動を応援し、ひとりでも多くの被害者の心が救われるよう、このフォーラムで得た貴重な経験を今後の被害者支援活動に繋げていきたいと思っております。

※PANSAKUの活動についてもっと知りたい方は、彼女たちの思いを綴ったブログ (<http://www.ameblo.jp/sayatrain>) を是非ご覧ください。「STAND」のほかPANSAKUのCDは、そこでも購入することができます。



活動報告 I

平成 22 年度 秋期全国研修会

平成 22 年 10 月 2・3 日 東京において全国研修会があり、参加してきました。

第 1 日目午前中の全体会では、まず全国被害者支援ネットワーク理事長山上皓先生の講演「全国被害者支援ネットワークの社会的意義」について、センターの目指すものとして、①必要な援助を受けられずにいる犯罪被害者のための社会的支援事業を推進②孤立しがちな犯罪被害者に市民として連帯の意思表示をし、社会正義と、安全な社会の実現に取り組む③被害者支援活動を通して、行政や司法・法務の在り方に生じた歪みを指摘し、その改革の実現を図る運動体であることを話されました。次いで、犯罪被害者の甘楽奈穂美さんより、9 年前にご主人を近所の男性に刺殺され、今でも手が震え、体が固まるとのこと。それでも被害にあった者の辛さを一生懸命語られました。



午後は分科会「生活支援に必要な地域の社会資源との連携」で、宇治市の犯罪被害者等支援条例の制定まで。千葉県での中核地域生活支援センターの働き。京都での他機関との連携の実際が紹介されました。

第 2 日目は、電話相談・対応についてのロールプレイでした。基本的なことの説明の後、グループに別れてロールプレイをしました。

全国センターの方々、また警察や行政等の方々の熱い思いに接し、多くの力を頂き、学ぶことの多い研修会でした。

(K. H)

「命の大切さを学ぶ教室」開催

この教室は、石川県警察本部と共同で、平成 19 年から県内の高校生等を対象に開催しているもので、平成 22 年で 4 年目となります。犯罪や交通事故で、突然かけがえのない家族を奪われたご遺族のお話しを高校生等に聞いてもらい、ご遺族の悲しみの大きさと人の命の大切さを学んでもらうことによって、社会全体で、被害者を支える気運を育てていくことを目的として行われました。

(事務局)



◎第 1 回	平成 22 年 11 月 12 日 (金)	金沢北陵高校	講師	瀬崎多津子氏 (静岡県在住)
◎第 2 回	平成 22 年 11 月 19 日 (金)	七尾東雲高校	講師	一井 彩子氏 (大阪府在住)
◎第 3 回	平成 22 年 12 月 3 日 (金)	県立工業高校	講師	高倉 年美氏 (富山県在住)
◎第 4 回	平成 22 年 12 月 9 日 (木)	大聖寺実業高校	講師	佐藤 逸代氏 (愛知県在住)
◎第 5 回	平成 23 年 2 月 14 日 (月)	県立看護大学	講師	高倉 年美氏 (富山県在住)

街頭キャンペーンの実施

石川県警察本部や関係警察署と連携して、11月3日（祝日）、石川県地場産業振興センターで開催される「被害者支援フォーラム2010」の案内と「オウム真理教被害者給付金の申請期限広報」を目的として、全国地域安全運動に合わせ、香林坊大和店前、御経塚サティ店、JR金沢駅において行い、当センターのリーフレットや広報チラシなどを配付しました。

また2月20日（日）には石川県警察音楽隊の第20回定期演奏会「ふれあいコンサート」の開催に合わせて、入場者等に当センターのリーフレット・ティッシュ等を配布する街頭キャンペーンを行いました。（事務局）



◎ 平成22年10月 8日（金）16：00	金沢市「大和香林坊店」前
◎ 平成22年10月11日（祝）11：00	野々市町「御経塚サティ店」
◎ 平成22年10月23日（土）11：00	金沢市「JR金沢駅」構内
◎ 平成22年11月17日（金）11：00	金沢市「JR金沢駅」構内
◎ 平成23年 2月20日（日）11：00	金沢市「本多の森ホール」

～犯罪被害者週間～

犯罪被害者等支援キャンペーン

犯罪被害者週間（11月25日から12月1日）に合わせ、県、県警、各自治体、各警察署等が参加して、買物客らに当センターのリーフレット・ティッシュ等を配付して、犯罪被害者支援を訴えました。

会場には、県警のマスコットの「いぬわし君」と「いぬわしちゃん」も参加しました。

また、白山市と加賀市のキャンペーンには、平成20年8月に金沢市久安地内で発生した殺人事件被害者のご両親も参加されて、情報提供を呼び掛けました。（事務局）



◎ 平成22年11月26日（金）16：00	白山市「アピタ松任店」
◎ 平成22年11月29日（月）16：00	加賀市「アピオシティ店」
◎ 平成22年11月30日（火）16：00	中能登町「アルプラザ店」

平成 22 年度 自助グループ継続研修に参加して

自助グループ継続研修は、10月26・27日の2日間にわたって行われ、当センターから私と自助グループ菊池邦子会長が参加しました。全国からの参加者24名の方々と意見交換を行うことができました。被害者支援について改めて考えさせられ、また、その難しさを実感した研修会でした。

一日目は、全国被害者支援ネットワーク山上理事長から、自助グループ活動の意義について講義をお聞きすることができ大変よい機会でした。特に、被害者の援助になるために、どのような基本的な姿勢が必要であるか、また、援助者と救済者との違いなど、支援に関わる基本的な心構えを再認識しました。

また、内閣府政策統括官安部雅俊交通安全担当参事官は、交通事故被害者の様々なデータを示し、現状や第9次交通安全基本計画等について説明がありました。

全国の各支援グループの活動状況報告も、参考になることが多くありました。同じような悩み、あるいは「なるほど」と思う部分もありました。

二日目では、模擬自助グループによるロールプレイを行いました。いろいろな役割を交替で演じました。やってみると実際に行っている活動との大差はなかったのですが、私は話すのがあまり得意でないので、言葉を補うために、誠意をもって、相手の感情に寄り添って話を聞けるように、さらに、スキルアップすることの必要性を痛感しました。

また、交通事故被害者への精神的支援だけでなく、法律援護、センターとの連携も必要であると感じました。しかし、今まで省みられなかった被害者が、自助グループに参加することで、意見を述べることで、心情を伝えられるようになっていくことは、隔世の感でもあり、被害者にとっては、感情を伝える道が少しでも開けたことはよいと思いました。多くの方々が利用できるように私たちが広報に努めていかなければならないと感じました。

最後に、この研修会に出席する機会をいただいたことを感謝申し上げます。

(Y.K)

東海・北陸ブロック前期研修会に参加して

今回の前期研修は、平成22年7月17日～18日、三重県において開催されました。

第1日目は、西山臨床心理士によるカウンセリング技術として、支援活動員の倫理と支援方法について、また、小倉弁護士から、被害者参加制度について講演が行われました。夜には各県支援員らと意見交換会が行われました。第2日目は、山上理事長から全国ネットワークの現状と課題について、川上理事（弁護士）から支援に関する法制度等についての講演が行われた後、事例に基づく検討会が行われて終了しました。

(事務局)



関 連 団 体 紹 介

「石川県県民文化局県民生活課の紹介」

犯罪被害者等支援につきましては、昭和49年の三菱重工ビル爆破事件、平成7年の地下鉄サリン事件等を契機として、公的支援を求める声が高まり、警察庁において犯罪被害給付制度の創設や被害者の視点に立った施策を推進する被害者対策要綱を策定するなど、警察が主体となって取り組んできました。

しかし、被害者等が求める総合的な取組とはなお隔たりがあったことから、被害者等の声に応えるべく、国において、平成17年4月に「犯罪被害者等基本法」が施行され、同年12月には、施策の総合的かつ計画的な推進を図るための「犯罪被害者等基本計画」が閣議決定されました。

その中で、地方公共団体には、被害者等に適切な情報提供等を行う総合的な対応窓口の設置や、地域の状況に応じた多岐にわたる施策を総合的に推進することが示され、被害者等支援については、行政が主体となり、関係機関・団体と連携協力しながら取り組むこととなりました。

これを受け、県では県民生活課に「総合的対応窓口」を設置し、石川被害者等支援連絡協議会と連携を図りながら、被害者等支援施策に取り組んでおります。

具体的には

○ 支援等のための体制整備への取組

- ・ 石川県犯罪被害者等支援庁内連絡会議の設置（県庁内等の推進体制を整備）
- ・ 市町犯罪被害者等支援主管課長会議の開催（市町との連携協力体制の確立）
- ・ 市町犯罪被害者等支援担当者研修会の開催（支援業務に必要な知識の修得）
- ・ 犯罪被害者支援ハンドブックの作成（途切れない支援体制の構築）
- ・ パンフレット等の作成（被害者等の置かれた状況、各種相談窓口など記載）

○ 県民の理解の増進と配慮・協力の確保への取組

犯罪被害者週間（毎年11/25～12/1）におけるキャンペーン（県内3ヵ所）の実施

○ 内閣府との共催事業

犯罪被害者等施策研修会の開催（隣接県・市担当者、県内市町及び支援関係機関・団体担当者等46名参加）等を行っておりますが、施策はまだ緒に就いたばかりでありますので、今後とも、支援関係機関・団体の皆様方との連携を一層強化して、被害者等の視点に立った施策を推進し、被害者等の尊厳が重んじられ、その尊厳にふさわしい処遇が保障される社会づくりに取り組んでいくこととしております。



内閣府との共催事業
「犯罪被害者等施策研修会」の開催状況



11/26 白山市でのキャンペーン
アピタ松任店での実施状況

石川県県民文化局県民生活課 TEL 076-225-1387 FAX 076-225-1389

石川県ホームページでもご覧ください。

感謝状贈呈



石川県損害保険代理業協会からご寄付

石川県損害保険代理業協会津田文雄会長から、同協会創立 60 周年記念事業として、被害者支援に役立ててほしいと、当サポートセンターに支援金をご寄付いただきましたので、当センターから、12 月 15 日に感謝状を贈呈しました。



あいおいニッセイ同和損害保険金沢支社からご寄付

あいおいニッセイ同和損害保険金沢支店平野裕一郎支店長から、平成 22 年 12 月に開催した「チャリティーゴルフ大会」の参加者から集められた寄付金を当センターにご寄付いただきましたので、12 月 22 日に感謝状を贈呈しました。

トピックス

法廷付き添い

被害者等が、裁判所の証人尋問を受ける場合や傍聴を行う場合で、不安・緊張などにより支援活動員の付き添いを希望されるときは、裁判所・検察庁との連携を図りながら、支援活動員 2 名以上がチームとなり被害者等の付き添いその他の支援、または精神的なサポートをさせていただきます。

被害者等が法廷付き添いを希望された場合、事前に支援活動員は検察庁と連絡を取り、付き添い支援をする旨説明し、担当検事から公判日時や公判廷を教示してもらい、今後の協力をお願いします。

大きな事件となれば、多数の傍聴人が予想されるので、担当検事に特別傍聴券交付を要請してもらうか、一般傍聴券の入手について準備します。

被害者等に上申書の提出や意見陳述の希望があれば、担当検事と連絡を取り、打ち合わせし、作成準備のお手伝いをします。

また、社会的に大きく取り上げられた事件では、被害者等の希望があれば報道・マスコミ関係についてもサポートセンターで対応することができます。

事前に裁判所内の状況を調べた上で、当日は被害者等の控室を準備し加害者及び加害者の関係者と裁判所内で会わない様に配慮します。

公判廷までの行路の安全に配慮し、傍聴席では被害者等の横または前後に座り、被害者等の精神的な支えとなり、被害者等の希望する用件の代行をしたり、法廷内での加害者及び関係者の動向に注意を払います。

閉廷後には、被害者等が希望すれば担当検事からの説明を受けることもできます。

裁判までに事前の説明と綿密な打ち合わせを行い、結審までの裁判期間、被害者等の意志を尊重し、常に情報を提供し意思の確認を行いながら、滞ることのない支援を行います。

＜平成22年度 一般社団法人 石川被害者サポートセンター役員＞

役職	氏名	役職名・所属機関
理事長	角間 俊夫	カナカン（株）会長、石川県警察官友の会会長
副理事長	武山 雅志	石川県立看護大学教授 臨床心理士
理事 事務局長	平澤 定盛	石川被害者サポートセンター事務局長
理事	五十嵐峰子	相談理事
	片田外美三	石川県警友会会長
	北本 福美	石川県臨床心理士会会長
	下中 晃治	金沢弁護士会 弁護士
	多田 治夫	金沢大学名誉教授
	出口 勲	金沢弁護士会 弁護士
	中濱 恵子	相談理事
	中村 一郎	石川県精神保健福祉協会副会長
	西岡 武機	石川被害者サポートセンター前事務局長
	西村 依子	金沢弁護士会 弁護士
	松原 三郎	松原病院理事長 石川県神経科精神科医会会長
	谷内 迪子	石川県ウオーキング協会副会長
	岡田 忠昭	(新) 元警察官
監事	福岡 恒忠	(社) 金沢こころの電話副理事
	萬谷 邦夫	(株) 北國銀行常勤監査役
顧問	石野 和子	悲しみ110番ネットワーク代表
	道下 忠蔵	(社) 金沢こころの電話相談役
	山上 皓	(N) 全国被害者支援ネットワーク理事長
	村上 昌則	石川県警察本部県民支援相談課被害者支援室長
	高田千恵子	石川県婦人団体協議会会長
	本山 直美	石川県女性センター館長

ご協力に感謝いたします

賛助会員〔個人〕賛助会員名簿〔個人〕

相川 生	大木 繁	北浦 弘	高松 正朋	中西 修一	松原 守	村田 正雄
浅田 昭夫	岡崎 慶治	木下 智秀	田方 英行	中野 康行	松本 正	村本 卓郎
浅野 則彦	岡本象七郎	桐沢 和幸	瀧川 成彬	中村 市朗	松本れい子	村本 浩
安達 信行	小川 剛	久保田 茂	竹下 進	西島 惇	真山 武志	森岡 真一
天井 修	沖野 利雄	藏 清正	田中 勲	西田 公洋	南 賢雄	森田 逞雄
泉 一秋	奥池 伸二	黒川 邦弘	田中 邦一	西森 福廣	南 信廣	森野 宏司
出雲 輝雄	奥田ヒロシ	黒瀬 勇孝	谷崎 信三	西山 英男	南 弘	森本 昇
井関 恵一	奥村 猛	此木 宏一	薦 外二	新田 栄二	南 義広	門口 義明
井波 三郎	尾山 重一	古濱 芳光	土田 宏	野竹 正直	南 隆明	山上 幸一
今井 勝彦	鍛冶 義信	坂井重一郎	土田 正人	橋本 剛	宮浦 福富	山岸 道生
今井 甚一	片田外美三	坂口由喜雄	土室 完	端森 隆志	宮川 努	山越 成則
今村 富男	紙尾 正和	坂下 和夫	敦賀 雄子	春木外喜男	宮川 博	山下 公一
岩井 重哲	亀田 勇夫	坂本 正二	劔地 正利	東 昭好	宮崎 昭一	山田 治男
岩城 蕃	加茂野正義	佐宗 功	出店 昇	平澤みつゑ	宮下 清	山本 隆
岩田 義博	加茂谷勇治	佐宗 節子	道見 登	広沢 喜義	宮野 守治	矢野 孝裕
岩谷 邦夫	河合外喜夫	佐藤 藍子	百成 政博	深谷富美子	宮野 浩	横井 利男
浦 正明	川上 久熱	島田 隆	徳野 健一	福田 康幸	向 邦芳	吉川 一雄
漆原 伸秀	川崎 隆	清水 滋	殿田 隆雄	細川 英夫	向川 喜作	米田 智栄
押上 正朋	川崎 修	清水まゆ美	友田 隆裕	眞島 俊明	村田 秀一	與野木昭二
大浦外志男	河島 満	新谷 欣治	中口 武男	榊井 勉	村田 司朗	渡辺 信行
大茂 豊二	川島喜久雄	新矢 良和	中田 計馬	松野 待子	村田 武雄	渡部 希典
大畑 豊司	川畑 敏雄	鈴村 市蔵				

【22年度賛助会費納入者名簿（他匿名希望5件）】

賛助会員 [団体・法人]

石川県警友会	澁谷工業(株)	(株)橋本清文堂	金沢中署警察官友の会
石川県自動車販売店協会	(株)スギヨ	ホクショウ(株)	警友会金沢西支部
(財)石川県交通安全協会	出口法律事務所	北陸総合警備保障(株)	寺井署警察官友の会
カナカン(株)	東部自動車学校	北陸電力(株)石川支店	能美職域防犯委員会
金沢商工会議所	(株)中島商店	北陸通信工業(株)	松任署警察官友の会
(株)国土開発センター	日本フィルター工業(株)	(株)北國銀行	鶴来地区警察官友の会
コマニー(株)	白山商工会議所	みづほ工業(株)	輪島署警察官友の会
			珠洲署警察官を励ます会

[寄付者]

損保協会・0「ゼロ」からの風実行委員会	石川県神経科精神科医会
石川県損害保険代理業協会	あいおいニッセイ同和損害保険(株)
清水不動産サービス	林 鞠子
	【他 匿名希望者 1 名】

賛助会員募集！ 振込口座番号が変わりました！

石川被害者サポートセンターの活動は正会員費・賛助会費等によって成り立っています。支援活動員はボランティアですが、支援活動員の養成・研修、広報啓発活動、事務局運営などに経費を必要としています。この趣旨にご賛同いただける新規会員の入会またはご寄付をお待ち致しております。お問い合わせお申し込みは事務局までご連絡ください。

■賛助会費（年額） [個人] 1口 / 3,000円 [団体・法人] 1口 / 30,000円

■振込口座 ゆうちょ銀行 13130 - 17807221

□座名義：一般社団法人 石川被害者サポートセンター

北國銀行 香林坊支店（普通）470482

□座名義：一般社団法人 石川被害者サポートセンター

早期援助団体の指定

平成 23 年 3 月 24 日、石川県公安委員会より犯罪被害者等早期援助団体の指定を受けることができました。

事務所移転について ～住所・電話番号が変わります。～

石川被害者サポートセンターは平成 23 年 4 月 1 日付け石川県広坂庁舎から平和町庁舎に移転しますので、ご案内します。

① 移転先住所

金沢市平和町 1 丁目 3 番 1 号
石川県平和町庁舎 2 階（旧養護学校校舎）

② 電話番号

○ 相談電話 TEL 076-226-7830
○ 事務所電話 TEL 076-226-7831
○ FAX 電話 TEL 076-226-7832

③ 交通アクセス

○ バス利用者
金沢駅・香林坊方面から、平和町行のバスに乗車して市民病院前で降車し、平和町 3 丁目押ボタン式信号機を 500m 程南進。
○ 野町広小路線を東進し、平和町 3 丁目押ボタン式信号機の横断歩道を 500m 程南進。

